

みよし市民病院 病院だより

第8号

広報HP委員会

みよし市三好町八和田山

15

TEL 0561-33-3300

FAX 0561-33-3308

広報誌刊行のごあいさつ

2月に入って降った思わぬ大雪に、春も遠のく思いがします。今日この頃ですが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。インフルエンザも収束に向かいつつありますが、まだまだ寒い日が続きますので、体調管理には十分に気をつけていただきたいと思います。

さて、今号では、みよし市民病院主催の「健康講座」、豊田加茂地域医療連携交流会及び当院の整形外科について紹介させていただきます。整形外科については市民の皆さんの健康保持に寄与することを目的として年1回開催しているものです。会場が満席になるほどの盛況ぶりです。多くの方にご来場いただきまして誠にありがとうございました。

既に御存知の方もみえると思いますが、昨年の9月1日付で小児科に須田裕一郎小児科部長が新たに仲間入りしました。ご本人から広報誌にコメントをいただきましたので併せて紹介させていただきます。

広報HP委員会 一同

健康講座

平成25年11月16日土曜日にサンプラタにおいて、平成25年度みよし市民病院「健康講座」が開催されました。

骨粗しょう症や加齢に伴う筋力低下で招く転倒によって骨折する件数を1件でも減らそうと、転ばぬ先の杖と題し、高齢者を対象に開催されたこの講座にはおよそ400人が参加しました。講師は当院の大仲良仁医師と理学療法士の山本正都技師長、そして市役所高齢福祉課の常盤弘子さんがそれぞれ担当し、整形外科、リハビリテーション、行政の立場から、これからも健康で長生きするための手軽にできる運動や対策などについて分かりやすく解説しました。



豊田加茂地域医療連携交流会

平成25年9月28日土曜日にホテルトヨタキャッスルにおいて、平成25年度豊田加茂地域医療連携交流会が行われました。この交流会は豊田加茂医師会が主催、豊田厚生病院・トヨタ記念病院・豊田地域医療センター・足助病院・みよし市民病院の5病院による共催により毎年開催されており、豊田・みよし地域における、診療所と診療所、病院と診療所、病院と病院との医療の連携強化を目的としています。

各病院や医師会より、地域連携のために日々取り組んでいる事柄についての発表（報告）が行われ、当院からは木村勝智診療部副医局長兼第二内科部長兼地域連携・医療相談室室長兼健診室室長が「豊田加茂地域ストレスケア連携会（TASCの会）のご紹介」を発表いたしました。



★ 整形 外科 ★

世界的にみても非常に速いペースで高齢化が進む日本において、健康寿命（日常生活に制限のない期間）をいかに伸ばせるかが、生活の質に大きく作用します。

平均寿命と健康寿命の差にあたる不健康な期間を短くするためには、どうすればいいでしょうか。要介護にならないようにすれば、必然とこの期間を短縮できると思いませんか？要介護になる原因の第1位は、脳血管疾患、第2位は、骨折・関節疾患、第3位は、高齢による衰弱ですから、少なくとも転倒を防ぎ、骨折しにくい骨にすれば、確実に要介護になる確率を減らすことができます。

骨折やケガをしてからの治療だけではなく、転倒を防ぎ、転倒したとしても骨折しにくい骨にするのも重要です。骨粗鬆症になると、若い頃は全く問題にならなかつたような転倒や尻もちで容易に骨折してしまいます。場合によっては、転倒などの外傷がなく気付かない内に骨折していることも多々あります。ですから、骨粗鬆症の治療が重要になってくるわけです。

治療の方法には、骨粗鬆症の重症度や患者さんの状態に合わせて色々なお薬があります。近年、骨粗鬆症薬には数種類の新薬

が登場しており、当院でも取り扱うようになっていきます。現在、テリパラチドと呼ばれる皮下注射剤が最も優れています。少し効果は落ちますが、内服薬でも治療効果はあります。

しかし、骨粗鬆症だけでは症状が全くありません。骨折してからや健診で指摘されて発見される方がほとんどです。通常の整形外科外来で骨粗鬆症の検査をしていますので、お気軽に御相談下さい。現在は、前腕の骨密度を中心に検査を行っていますが、来年には新機材の導入の予定がありますので、より精密な検査が可能になります。



新任のごあいさつ

本年九月からみよし市民病院に赴任となつた小児科の須田と申します。前部長の若月先生の退職に伴い、当院に転勤となりました。

前任地では一般小児診療、予防接種業務を行っていましたが、専門はアレルギー疾患（アレルギー学会専門医）で、気管支喘息や食物アレルギーなどを中心に診ておりました。今まで赴任してきた病院は小児科医が計十人前後の大きな病院ばかりで、当院のような一人で赴任の病院は初めてです。ただ元部長の星野先生や名古屋市立大学小児科からの非常勤の先生方のサポートのおかげで無理なく診療を続けさせていただいております。

常勤医が一人の総合病院小児科は、当院も例外ではなく、大病院と同様の体制で診療は困難です。それでも前任の先生方が築いてきた当院小児科の歴史を受け継ぎ、かつ最新のガイドラインなどを取り入れながら、みよし市民病院の基本方針に沿った診療を行っていきたくと考えております。よろしくお願ひします。

小児科 須田 裕一郎

